

真光苑だより

2月の山梨は記録的な大雪で交通が寸断され、食料・生活用品の供給にも支障が出るほどでした。真光苑も白銀の世界となりましたが、その雪の中でじっとたたずんでいらっしやる石仏に光がさす光景は、まさに煩惱みれの人々をじっと見守られ、すくおうとされている仏様を感じざるを得ませんでした。

雪といえば、天逝の詩人・金子みすゞに「つもった雪」を思い出します。

上の雪 さむかろな。 つめたい月がさしていて。

下の雪 重かろな。 何百人ものせていて。

中の雪 さみしかろな。 空も地面（じべた）もみえないで

大雪の中にも自然への慈しみと限りのない優しさを感じます。私たちも子供の頃の素直な気持ち大事にし、仏様の救いの呼び声に疑いのない耳を傾けたいものです、真光寺は20年以上ぶりに大いちょうの剪定というより、樹上の枯枝や土の除去作業を1月下旬に行いました。そのまま放置したところにあの大雪だったらいちょうの木本体がその重みで倒れこんでいたかもしれませんでした。

4月19日（土）には、石仏百仏建立記念を兼ねて、真光苑花まつりを開催します。詳しくは号外をご覧ください。

もう一度金子みすゞの詩「春の朝」

すずめがなくな、いいひよりだな、うっとり、うっとりねむいな。

上のまぶたはあこうか、下のまぶたはまアだだよ、うっとりうっとり ねむいな。



☎ 0120-211-017

〒409-1306 山梨県甲州市勝沼町山 1539 真光寺内 TEL&FAX:0553-44-0802
真光苑 東京案内所 〒152-0023 東京都目黒区八雲 1-3-1 TEL:03-3723-1201